

# 令和3年度 認定こども園 神戸鹿の子幼稚園 学校評価

## 1. 本園の教育理念および教育目標

### 【教育理念】

「和」の心を持ち、「努力」を重ね、「夢に向かう力を羽包む

### 【教育目標】

健康な体をつくり、情緒ゆたかにして積極性のある行動力を育て、  
心身共に健やかで社会に適応できる子どもの育成に努める。

## 2. 重点的に取り組む目標・計画

1. 園児が主体的に活動できる環境の整備（昨年度より継続）  
子どもの主体的な活動を重視し、自分ができること、やってみたいことを進んで取り組める環境を整える。
2. コロナ感染予防  
新型コロナウイルス予防のため、手洗い・消毒・必要に応じたマスク着用・3密を避けつつ、心身ともに健康的な園生活を過ごす。
3. 未来を見据えた保育の展開  
これからの時代や想定される環境や社会を見据え、多様な保育を展開する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

番号	取り組み	具体的な内容と成果
1	子どもの主体性に根ざした保育	昨年度から継続して子どもが主体的に活動できる保育を展開した。作品展では創作欲や表現意欲を高めつつ課題を解決しようとする力を育むことを目指した。0歳1歳2歳は楽しみながら取り組めるように、3歳4歳5歳は対話からテーマを引き出した。製作過程における子供たちの気づきや学びの視覚化・共有化を目的としたドキュメンテーションでは、動画という要素も選択肢に加えた。 結果、昨年度より増して子どもたちが楽しく取り組む姿が見られた。また、保護者アンケートでは、子どもたちの意欲が高まっていたことが確認できた。
2	コロナ感染症対策	アルコール消毒液の設置、マスクの確保、行事の参加人数制限や常時換気などコロナ感染予防に努めた。今年度は全国的な感染拡大が見られ、国及び各市町村からの施策、通知が度々変更となった。陽性者が出たときの対応および登園基準等の混乱が起きないように、可能な限り迅速に情報を共有し、要点をまとめた文章を配付するよう心掛けた。 まん延防止措置により、活動内容の変更又は中止を余儀なくされた一方で、子供たちひとりひとりの姿を捉える機会ができ、考える時間が増えた。
3	多様な保育の実践	ICT 保育の取り組みとして、株式会社スマートエディケーション協力のもとiPadを使った活動を、預かり保育時間内の年長組を対象に限定的に行った。アプリ「音粘土」では、テーマに似た音を園内で探すという活動を行い、身の回りの音に対する興味を持つきっかけとなった。 また、国際交流としてスリランカの学生とzoomを利用して、異文化交流プログラムを実施した。日本とスリランカの地域や気候、新年の過ごし方の違い等を知り、興味をもってスリランカの文化に触れることができた。
1	幼小連携の強化	昨年からの始動した幼小連携の一環とした神戸市立鹿の子小学校との合同研修会を実施した。子どもの主体性を目指した保育について、保育実践例を示しながら伝えた。また、小学校からは卒園児の様子や報告を受け、鹿の子学園の教育・保育理念の評価を行った。 今後もこのような合同研修会を実施することで、子どもたちがスムーズに小学校に進学できる環境を整えていく。

—	設備改修整備	園庭の築山とグラウンドとの境界で利用していた柵について、経年劣化による錆びなどが目立ってきたため、頑丈なアルミ製の柵に取り換えた。 また、レールの劣化により円滑に開閉できなくなった駐車場と園舎をつなぐ通路の扉を修繕した。 株式会社エドインターよりSDGsの一環として、アウトレットの木製の玩具（0歳～2歳児対象）の寄付を受領し、子どもたちに提供した。
---	--------	---

#### 4. 学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
概ね達成されている	前述の「3. 評価項目の達成及び取り組み状況」より

#### 5. 今後の取り組むべき課題

課 題	内 容
共主体的な保育を目指す	令和4年度の行事を子供たちの普段の活動の中で生じた興味関心から展開をしたプログラムとなるよう再構築する。そのためには一層子どもたちの姿を見て話し合いの時間が必要となる。 園での「学び」や「気づき」と、ご家庭での生活の経験の中での相互作用を活かし、双方から学びの幅を広げていく。

#### 6. 財務状況

監査法人による財務監査により、適正に運営されていると認められている。
------------------------------------

#### 7. 情報公開

本学園ホームページに保育活動や基本的な情報を積極的に公開している。 アドレス… <a href="http://kobe-kanoko/net">http://kobe-kanoko/net</a>
--

#### 8. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自分から意見を発信するようになった。</li> <li>・子どもたちの言葉遣いが丁寧である。</li> <li>・全国的な新型コロナウイルス感染拡大により、様々な行事が変更または中止を余儀なくされていた中、卒園式が無事開催され嬉しかった。</li> <li>・まん延防止措置期間中における登園自粛の諸費用返金について、全く利用しなかった方が対象とされたため、登園の判断が難しかった。</li> <li>・登園自粛期間中、何か園から発信される動画があれば嬉しかった。（毎日配信ではなく、月の歌の演奏、通常保育の一日の流れなど）</li> <li>・年長児における春休み預かり料金について、利用当日現金支払制度の改善を希望する。</li> <li>・本年度は無観客だったが、昨年度の年少児運動会入れ替わり形式がよかった。</li> <li>・小学校の兄弟がいる場合、コロナの状況を小学校と連携できるシステムがあれば嬉しい。</li> </ul>
--